



Team石川



小中一貫CSだより第43号

令和元年10月21日 文責(松)

めざす子ども像(15歳の姿) 石川小・中学校や地域に誇りと感謝をもつ子ども

地域の教育資源を活用～小5稲刈り(総合的な学習の時間)



弘前市の石川小学校(千葉敦校長)は27日、同校近くの水田で恒例の稲刈りを行った。5年生21人が、自分たちで植えて黄金色に実った稲を、慣れない鎌を使って丁寧に刈り取った。自分たちが植えた稲を収穫する児童たち

乳井みどり保全会(棟方健会長)の協力により、恒例行事として定着している。収穫したのはもち米「アネコモチ」で、児童は鎌を手に「なかなか切れない」と悪戦苦闘。要領を覚えて素早く作業を進める児童の姿もあり、1時間以内に約1畝の稲が刈り取られた。田を提供している成田毅さん(66)は「農家の多い石川の子どものために、収穫の喜びを知ってほしい」と話し、

慣れない鎌で悪戦苦闘

弘前小5年生がもち米収穫

初めて稲刈りをした棟方ひかるさん(10)は「鎌を使って手が痛いが、食べる時が楽しみ」と笑顔を見せた。収穫したコメは来年2月上旬の石川公民館まつりで餅つきに使用される予定。(下山和枝)

9月27日(金)、5月に田植え体験を行った田んぼで、稲刈り体験をしました。乳井みどり保全会の方々の御指導の下、最初は鎌の使い方がごちなかつたのですが段々上手になり、予定よりも早く稲刈りが終わりました。例年は稲を刈るだけなのですが、今年は作業が早く終わったので、刈った稲を束ねる作業もしました。稲わらで刈った稲を束ねるといいう作業には苦勞していましたが貴重な体験をすることができました。



令和元年10月1日付陸奥新報



最後に田んぼを提供している成田毅さんに質問をしました。

Q:「米作りで大変なことは何ですか」

A:「米の病気、いもち病や、虫、特にカメムシの被害があれば大変です。」

Q:「よりよい稲作りのためにはどんな工夫がありますか」

A:「いろいろ温度管理とかあるけれど、稲作りの基本を守ることが大事です。」

Q:「成田さんの田んぼでは、どれくらいの収穫がありますか」

A:「1反歩で9俵くらいです」

収穫したもち米「アネコモチ」は、2月の公民館文化祭のもちつき会で、5年生と保護者、そして地域の方々にも振る舞われる予定です。

乳井みどり保全会の皆様ありがとうございました。

初の小中合同マラソン記録会が行われました

10月4日(金)、夜中の豪雨にもかかわらず、朝方から雨が上がり、雲のすき間から日が差し込むようになりました。開催が危ぶまれましたが、初の試みである合同マラソン記録会が盛況に行われました。保護者の皆様も多数来校し、児童生徒の一生懸命な走りに大きな声援と拍手を送っていました。また、小学生が走っている時は中学生が、中



学生が走っている時は小学生が応援し、この合同行事が大変有意義なものとなりました。「初めての試みであったがスムーズに進行した。成果が大きく来年度以降も持続可能な行事である」などの教職員の意見もありました。今年度の反省を生かし、是非来年度も実施していきたいと思ひます。



初の小中合同合唱が行われました

10月15日(火)、恒例の合唱コンクールが中学校で行われました。毎年、小学校6年生が見学にきていましたが、見学だけではなく、小中学生と一緒に合唱する機会があればよい、という意見が小中の教職員からあり、小学校5・6年生と中学生全員計約130名が「夢の世界」という曲を合唱しました。9月末に1回だけ合同で練習しただけなのですが、見事にハーモニーを奏でることができました。来年度以降も実施していきたいと思ひます。



校舎建て替えの検討状況～要望団体への説明会実施



9月26日(木)、小学校会議室において、市管財課、市教委学校整備課の方々、校舎建て替えの要望書に署名した各団体(各町会、小中PTA、民生委員児童委員協議会、防犯協会、体協、消防団、健全育成協議会など)、及び各地区児童館の代表者の皆さんに対する説明会が行われました。活発に意見が交わされ、新小学校グラウンドの整備、公民館の大広間や体育館・武道館の設置、児童館設置の在り方などについて話題になりました。

11月19日(火)には18:30に、小学校体育館において小・中学校保護者・地域住民の皆様への説明会が行われますので、是非ご参加していただき、石川の子ども達のために、建設的な意見を述べていただければ幸いです。

